



令和3年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年7月30日

上場会社名 株式会社sMedio 上場取引所 東  
 コード番号 3913 URL https://www.smedio.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 定則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 北埜 弘剛 (TEL) 03-6262-8660 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 令和3年8月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年12月期第2四半期の連結業績(令和3年1月1日~令和3年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年12月期第2四半期	411	△14.7	2	△95.1	7	△84.6	△11	—
2年12月期第2四半期	482	10.2	46	—	46	—	24	—

(注) 包括利益 3年12月期第2四半期 △2百万円(—%) 2年12月期第2四半期 21百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
3年12月期第2四半期	円 銭 △5.82	円 銭 —
2年12月期第2四半期	12.70	12.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
3年12月期第2四半期	百万円 1,256	百万円 1,117	% 88.9	円 銭 577.21
2年12月期	1,261	1,111	88.1	575.92

(参考) 自己資本 3年12月期第2四半期 1,117百万円 2年12月期 1,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
3年12月期	—	0.00			
3年12月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年12月期の連結業績予想(令和3年1月1日~令和3年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,034	13.2	53	67.2	53	79.3	36	252.4	18.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

3年12月期2Q	2,042,521株	2年12月期	2,040,121株
3年12月期2Q	106,892株	2年12月期	110,892株
3年12月期2Q	1,931,762株	2年12月期2Q	1,920,562株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、再び、緊急事態宣言が出される等、経済活動の制約が継続していることもあり、先行きが見通せない状態となっています。

このような状況であるからこそ、当社がミッションとしている、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進がますます重要視されており、当社は、引き続き、DXを推進する事業を展開してまいります。

当社の事業は、技術の特徴で大きく分けると、デジタル家電組み込みソフトウェア事業、映像AI解析・IoTソフトウェア事業、セキュリティ&プライバシー事業の3つに分けられます。

（デジタル家電組み込みソフトウェア事業）・・・当社が主体

Blu-ray™ 再生ソフトウェアや高解像度(4K/8K)画像処理技術を基盤とした事業になります。当事業は、ロイヤリティ収入を主体としているため、Blu-ray™などを再生するデジタル家電機器（TV、Blu-ray™レコーダー、PCなど）の出荷台数に影響を受けます。

（映像AI解析・IoTソフトウェア事業）・・・当社が主体

映像解析・分析AIエンジンとIoT技術を組み合わせたエンドツーエンドのBtoB向けのソリューションを提供している事業になります。

当社は、建設現場における課題を解決するソリューション提供に特化して、事業を推進しております。

（セキュリティ&プライバシー事業）・・・タオソフトウェア㈱が主体

Android™のセキュリティ脆弱性診断やアプリ・サーバー構築に関する開発収入、データ移行・バックアップアプリ（JSバックアップ）に関するロイヤリティ収入（月額課金サービス収入を含む）を中心とした事業であります。

## ① 売上高の分析

（ロイヤリティ収入）

当社ソフトウェアが搭載されている顧客の製品種類は増えておりますが、世界的な半導体の供給不足を要因とする、一時的とみられる顧客の製品出荷数の落ち込みおよび製品出荷開始時期が第1四半期から第2四半期へずれ込んだ（ロイヤリティ収入計上は第3四半期にずれ込む）顧客製品があったこと等で、ロイヤリティ収入は前年同四半期比52百万円の減収となりました。

（受託開発収入）

当第2四半期連結累計期間の受託開発案件は、前年同四半期の案件に比べ、開発規模が小さくなった案件があったこと等で、前年同四半期比14百万円の減収となりました。

この結果、当社グループ全体としては、売上高は411百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

形態別売上高は、下表のとおりであります。

（単位：百万円未満切捨て）

形態別売上高	前々第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
ロイヤリティ収入	304	326	273	△52	△16.0
受託開発収入	103	136	121	△14	△10.8
保守・サポート収入	29	20	15	△4	△20.1
合計	437	482	411	△71	△14.7

## ② 販売費及び一般管理費、営業利益の分析

当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は213百万円（前年同四半期比7.8%減）、営業利益は2百万円（同95.1%減）となりました。売上高の減少により、営業利益は前年同四半期比では大きく減少しましたが、前々第2四半期連結累計期間の売上高を下回る水準の売上高でも、営業赤字を出すことなく、営業利益を計上できるほどに、原価低減および販管費節減の効果が出ています。

## ③ 営業外損益、経常利益の分析

当第2四半期連結累計期間における営業外収益は、為替差益が増加したことなどで4百万円（前年同四半期比650.0%増）となりました。その結果、経常利益は7百万円（前年同四半期比85%減）となりました。

## ④ 親会社株主に帰属する四半期純利益の分析

当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純損失11百万円（前年同四半期は、24百万円の純利益）となりました。

（単位：百万円未満切捨て）

	前々第2四半期 連結累計期間	前第2四半期連結 累計期間	当第2四半期連結 累計期間	増減
売上高	437	482	411	△71
営業利益又は営業損失（△）	△69	46	2	△44
経常利益又は経常損失（△）	△68	46	7	△39
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純 損失（△）	△70	24	△11	△35

## （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

## ① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は1,193百万円であり、前連結会計年度末と比べ21百万円増加しました。これは、ライセンス費用の払い出し等により原材料が34百万円減少、開発案件の売上計上に伴い仕掛品が4百万円減少した半面、現預金が102百万円増加したことによるものであります。

## ② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は62百万円であり、前連結会計年度末と比べ25百万円減少しました。これは、主に定期償却によりのれんが12百万円減少したことによるものであります。

## ③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は130百万円であり、前連結会計年度末と比べ11百万円減少しました。これは、主に納税したことで未払消費税等が13百万円、未払法人税等が2百万円減少したことによるものであります。

## ④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は8百万円であり、前連結会計年度末と比べ0百万円増加とほぼ変動はありませんでした。

## ⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は1,117百万円であり、前連結会計年度末と比べ6百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失11百万円を計上したものの、為替換算調整勘定の増加8百万円および株式報酬による自己株式の処分7百万円によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和3年2月5日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	806,624	909,321
売掛金	73,728	29,944
仕掛品	18,224	13,770
原材料及び貯蔵品	257,753	223,323
その他	16,593	17,659
貸倒引当金	△146	△146
流動資産合計	1,172,778	1,193,873
固定資産		
有形固定資産	18,716	16,605
無形固定資産		
ソフトウェア	9,719	7,564
のれん	17,048	4,209
その他	2,108	1,930
無形固定資産合計	28,876	13,704
投資その他の資産		
繰延税金資産	16,341	7,975
敷金及び保証金	16,499	16,542
その他	8,022	8,022
投資その他の資産合計	40,863	32,540
固定資産合計	88,456	62,849
資産合計	1,261,234	1,256,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,245	10,504
未払法人税等	15,386	12,600
前受収益	14,527	16,943
賞与引当金	2,142	5,021
その他	99,333	85,400
流動負債合計	141,636	130,470
固定負債		
資産除去債務	5,112	5,198
繰延税金負債	3,387	3,772
固定負債合計	8,499	8,970
負債合計	150,135	139,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,394	511,882
資本剰余金	653,826	653,334
利益剰余金	144,682	133,439
自己株式	△201,412	△194,148
株主資本合計	1,107,491	1,104,508
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	499	1,447
為替換算調整勘定	3,109	11,326
その他の包括利益累計額合計	3,608	12,774
純資産合計	1,111,099	1,117,282
負債純資産合計	1,261,234	1,256,723

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)
売上高	482,355	411,296
売上原価	204,077	195,517
売上総利益	278,277	215,778
販売費及び一般管理費	231,451	213,491
営業利益	46,826	2,287
営業外収益		
受取利息	86	92
助成金収入	566	312
為替差益	—	3,857
その他	3	667
営業外収益合計	657	4,930
営業外費用		
為替差損	602	—
その他	—	0
営業外費用合計	602	0
経常利益	46,880	7,217
特別損失		
固定資産除却損	1,417	—
特別損失合計	1,417	—
税金等調整前四半期純利益	45,462	7,217
法人税等	21,070	18,460
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,392	△11,243
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	24,392	△11,243



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,392	△11,243
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△731	948
為替換算調整勘定	△2,251	8,217
その他の包括利益合計	△2,983	9,165
四半期包括利益	21,409	△2,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,409	△2,077

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 令和2年1月1日 至 令和2年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間

(自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)

当社グループは、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)
前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

## 連結子会社の解散決議

令和3年4月15日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社情報スペースを解散及び清算することを決議しました。なお、同社は、令和3年6月30日付で解散し、本第2四半期決算短信公表日現在、清算手続き中であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。